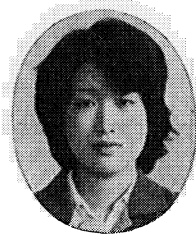


あれから半年



黒 澤 千 賀 子

~~~~~

~~~~~

はやいもので新任教員として三年生を受け持ち、もう半年が過ぎてしまいました。今年の三月に任地校が石川町立野木沢小学校と決まったとき、石川町はどんな所だろうか、どんな子供たちがいるだろうかとあれこれ考え、落ち着いていられない気持ちでした。また、うまくやっつけていけるかどうか不安でした。反面やればなんとかできるだろうと楽観的にも考えていました。

四月の着任式で初めて子供たちを目の前にして、胸はどきどき足はがくがくと震えがとまりませんでした。三年生は全部で三十三人、腕白盛りでそのうえ、男子が二十人もいる学級で、その元気のよさには初めから圧倒されてしまいました。これから一人で三十三人を相手にしっかりとやらなければなら

ないと思うと、責任の重大さを感じました。本当にがんばらなくてはいけません。と思いました。

初めのころは、まだ慣れていないせい、か、とまどうことが多く、気ばかりあせていました。まだ自分に自信がないため、子供にこんなことを言っていないのか、こんなことをしていいのか不安で遠慮がちだったためか、授業をしていても子供たちは話を聞いてくれず、おしゃべりばかりしていました。

また、教材研究不足でつまづきながらのため余計にそうなるようでした。おしゃべりばかりで話すことがなくなるのかと思うほどでした。わたしはなんとか静かにさせたいと必死になつてしまい、子供に負けまいと大声でどなってばかりいる日が続ききました。し

かし、子供たちのおしゃべりは、ますます多くなり、時にはわたしに反発するありさまで、失敗ばかりの連続でした。自分がこんなに一生懸命やっているのにどうして分かってくれないのだろうと思うととてもやさしい気持ちになりました。とにかく落ち着いて勉強する雰囲気ではなく、どんどん遅れていくので大変焦りました。しかし研修会などの話や友達の話や聞くと、わたしだけでなくみんな同じことで悩んでいるということが分かり、少し安心した気持ちになることができました。仲間作りや班活動を工夫したり、目標をはっきりさせ、主体的に取り組めるようにむけたりするなどしてみました。時



意 欲 を も っ て …

には静かになるまで話をしないで待つていることもやりました。しかし一時的には静かになっても、長続きせず、根負けしてしまいそうになることが多い状態で一学期が過ぎてしまいました。

夏休みが終わり二期期が始まると、あんなに多かつたおしゃべりも少なくなり、子供たちも落ち着いてきました。学習に取り組み姿にも意欲が感じられるようになりました。みんなに迷惑をかけ、自分も人の話が聞けず後で困るんだということに気づき、自分から取り組もうとする気持ちも高まってきたためかと思えます。むだ話をする友達がいると注意しあい、自分たちから進んで静かにするようになりました。

かなりよくなってきたとはいえ、わたしを悩ましてきた子供たちですが、しかられてもすぐまた「先生」といふいろいろ話をしてくるので、本当に素直でかわいいとも思います。さつきあんなにしかつてしまい気の毒だったと思うことがたびたびです。また、授業をしていて子供が分かったとうなずいてくれるときや、力いっぱい活動し、あるいは苦勞してやりとげて喜ぶ子供の姿を見るときなど、大変うれしく思います。どちらかといえば、喜びよりも悩みの方が多い毎日ですが、しっかりと責任を果たし、期待にこたえられるよう努力していきたいと思えます。

(石川町立野木沢小学校教諭)